



校報 水糸者

No. 856

29年度・第29号

運動会シリーズ・パート1

赤もよくやった、白もよくやった

全勝・全笑・全咲の運動会

～140周年記念にふさわしい頑張りを示した種小っ子！～

学校創立140周年を記念する今年度の運動会が、工藤大輔県議会副議長さんや向折戸教育長さんを始めとする多くのご来賓や保護者、地域の方々をお迎えして、初夏の太陽が照りつける中、盛大に開催されました。

今年の運動会も最後の最後までつれる熱戦でしたが、(白…586点 赤…601点) その熱戦を制したのは、予行練習でもわずか29点差で勝利した「赤組」でした。

勝利に歓喜する赤組と、予行練習の雪辱を期し、努力を続けたが最後まで届かなかった悔しさに肩を落とし、涙が流れた白組でしたが、赤組・白組とも『勝ったうれしさと負けた悔しさ』や『勝者への賛辞と敗者への労わり』なども知った「人」として成長するために、多くの学びがあった学校創立140年という、節目にふさわしい有意義な運動会となりました。

運動会スローガン『全勝・全笑・全咲 ～天までとどけ！えがおの花～』どおりの勝利をめざし、最後までしっかり競技や応援、係活動を頑張りぬく姿や笑顔で演技や応援する姿がたくさんあり、全員がうつくしく『咲いた』、すばらしい運動会となりました。あの場と時間を共有した人たちは皆、種小っ子の姿に元気をもらい幸せを感じた時間となった事だと思えます。代休明けの30日も、子ども達は元気に登校しました。(欠席者は3名だけでした)

笑顔で登校して来る姿からは、全力を尽くしてやり尽くした満足感や充実感が伝わって来ました。歯を食いしばりゴールを目指す子どもの姿、演技や競技に喝采の拍手と笑顔いっぱいの保護者や地域の方々の姿が多く見られた、すばらしい運動会になりました。

保護者、地域の皆さん、最後の最後まで温かいご声援、ありがとうございました。



〈閉会式での講評(要旨)〉

予行練習で「90点です」といいましたが、誰もその「90点」に満足せずに最後までしっかりと練習を頑張っていましたね。マリンホールに貼ってある『頑張りシール』の数が、予行練習の時には「213枚」でしたが、予行練習が終わってから今日までの2日間で「393枚」に増えていました。たった2日間で180枚も増えるほど皆さんは頑張ったのです。だから、このような素晴らしい運動会となりました。

すばらしい運動会となった最も大きな理由は6年生にあります。6年生は朝早くから応援や係活動、組団のお世話、自分の種目などに大忙しでしたが、種市小学校の最高学年のあるべき姿を示し続けてくれました。その姿は新しい種市小学校の良き伝統となる姿です。皆さんで大きな拍手を送りましょう。地域、保護者の皆さん最後まで温かい応援、ありがとうございました。



『全勝・全笑・全咲』～天までとどけ！えがおの花～

運動会スローガン

…競技、演技、応援、係活動…



海の子プラスの力強い、華やかなファンファーレで幕が開きました



逸見児童会長を先頭に、全校児童の入場行進がスタート！



「最後までしっかり頑張ります！」と開会式で両組団長が宣誓したとおりの素晴らしい運動会となりました。そして、団長として最後まで自軍の勝利を信じ、友にエールを送り続けました。



最後までしっかり走り切るのが種小っ子です



会心の出来となった、5・6年生による「表現運動・未来へつなぐ美しい種市」



昨年度の運動会に、わざわざブラジル??から応援に来てくれた方が、今年は風船をたくさん身につけて来てくれました。



競技に係活動に大忙しかった高学年の子どもとPTA役員さん達。おかげで運動会は成功！



自軍の名誉とアンカーのプライドをかけた走りでの熱戦となった紅白選手リレー



140周年に相応しい趣向を凝らした今年度のPTA種目。140周年に華を添えてくれました。



子どもたちは今回の運動会でみんなに褒められ、ますます元気に学校生活を送っていくはず。今回の運動会では、全員が「成功したし、また次も頑張りたい。」「失敗したが、次も頑張りたい。」と思ったはず。このような成功体験の積み重ねが次への意欲や自己肯定感を高めることになり。大きな行事を経て、しなやかな『節』を作ることが出来ました。会場のあちこちに種市の財産でもある『親睦や絆、笑顔、元気』があふれた良い1日となりました。皆さん、ご苦労様でした。